

3 出来形及び出来ばえ

[検査職員]

I. 出来形

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

無
■
■
■
■

【出来形管理表（管理図含む）の充実度】
 適正な出来形施工管理計画が提出（1000万円未満は提出についてのみ免除）されている。
 出来形管理総括表の充実、および出来形数量総括表に不足がない。
 管理項目（測点、変化点および測定値等）に不足がなく、その内容も充実している。
 工程能力図（グラフ）の充実度（施工長が連続する100m以上もしくは側点数が5点以上の場合必要）
 ※出来形管理表や出来形展開図と現場実測数値との合致度（抽出したものでよい）

■	■	■
■	■	■
■	■	■

■
■
■

【出来形管理写真の充実度】
 作業工程（作業の流れがわかりやすい）
 適正な施工状況（各種作業）
 不可視部（基礎基面、根入れ、裏込め、鉄筋、杭頭、地中改良、構造物の背面、水没埋没、撤去物 など）
 検寸状況（テープの張り方、目盛確認、計画と実績表示、黒板の表示内容と設置状況 など）
 写真の鮮明度及び説明欄の充実

■	■	■
■	■	■

■
■

■	■	■
■	■	■

■
■

【出来形測定への配慮】
 ※現場表示（測点、墨上げ、展開図表示 など）
 ※業者作成の出来形展開図の出来栄え（測点、測線、設計値、実測値、差の値、コアの採取位置、B試験の位置、区画線の刻印位置などの記載）

(良×a+可×b-不可×c) / (対象項目最大合計点) = %
 (項目が少ない場合は特例を使用してください)

判定

- 該当項目が80%以上・・・ a
- 該当項目が60~80%未満・・・ a'
- 該当項目が40~60%未満・・・ b
- 該当項目が20~40%未満・・・ b'
- 該当項目が0~20%未満・・・ c
- 該当項目が-40~0%未満・・・ d
- 該当項目が-40%未満・・・ e
- 直接入力 重要部や主要部である不可視部分の出来形管理写真が不十分。・・・ d
- 直接入力 * 出来形管理数値と現地測定値に大きな差異があり、管理不十分なのが判明した。・・・ d
- 直接入力 * 手直しするほどではないが、設計図面等を軽視した施工が見受けられる。・・・ d
- 直接入力 * 実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により軽微な手直しを指示した。
 ・・・ d (手直し指示書)
- 直接入力 * 実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により重大な手直しを指示した。
 ・・・ e (手直し指示書+再検査)

【出来形の少数項目の特例】 (施工状況評価項目数が4個以下では下記で評価を行う)
 品質評価項目数=
 特例適用判断→

- 該当項目が40%以上・・・ b
- 該当項目が-40~40%未満・・・ c
- 該当項目が-40%未満・・・ d

II. 品質

[検査職員]

共通
良 可 不可

無

■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				

■
■
■
■
■
■
■
■
■
■

【品質管理の充実度】

適正な品質管理計画（1000万円未満は提出についてのみ免除）が提出されている。
 品質管理総括表の充実度
 材料使用願いがきちんと整理されて、もれなく事前に提出されている。
 ※承認した材料と使用した材料が同一の材料であり、良質であることが確認できる。
 管理項目の適正度、充実度
 コンクリート打設時の供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
 各種試験成績 指定機関の各種試験成績証がもれなくある（対象箇所、個数）。
 段階確認の充実度
 工場検査の関連資料が充実している。
 品質管理資料について、主任技術者等による内容の理解、検証、説明が満足できる。

■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				

■
■
■
■
■
■
■
■
■
■

【品質管理写真の充実度】

見易さ、わかりやすさ
 鮮明度
 寸法検測 現場搬入時の検収写真が十分確認できる。
 重要構造物（基礎杭、基面、基礎材、型枠、配筋、かぶり、養生、検寸など）
 不可視部分の品質管理
 丁寧な施工が写真で十分確認できる。

■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				

■
■
■
■
■
■
■
■
■
■

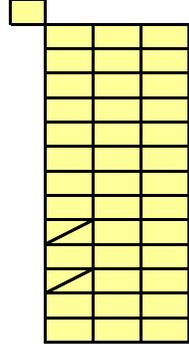
【品質確認】

* 遮水すべきところでの漏水がない。
 ひび割れ調査重要構造物（注1）のクラックについては「現場打コンクリート」で評価
 コンクリート・モルタル吹付工のクラックについては「種子・客土・厚層基材・
 コンクリート・モルタル吹付工・現場吹付法枠工」で評価
 * 〇、2mm未満のクラック（ヘアークラック）さえ見当たらない。
 * 〇、2mm以上のクラックが存在する。
 * 〇、2mm以上のクラックを適切に処理（注2）している。
 (注1)「ひび割れ調査重要構造物」とは、下記のものを示す。
 内空断面積が25㎡以上の鉄筋コンクリートカルバート類
 高さが3m以上の樋門
 橋梁上・下部工（ただし、PC橋は除く）
 高さ5m以上の鉄筋コンクリート擁壁（ただしプレキャスト製品は除く）
 高さが3m以上の堰
 高さが3m以上の水門
 その他これに類するもの
 (注2)適切に処理しているとは、「進行性の場合は経過観察」「その他の場合は補修済み、
 または補修方針協議済み」を示す。

《応急仮工事》

（応急仮工事は施工の迅速性と安全性が特に重要であり、工種も多岐にわたるので品質項目については各工種から該当項目を抽出し対応するか「その他」の追加項目等を利用するものとするが、品質については最低限のものが確保されていれば「可」評価としてもよい。）

1 土工
良 可 不可

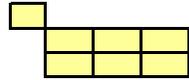


無



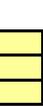
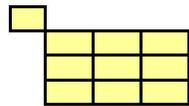
【一般土工】

掘削床掘が適正なのが状況写真で十分確認できる。
 積込・運搬状況が適正なのが状況写真で十分確認できる。
 不陸整正・基面整正の状況が良好であるのが写真で十分確認できる。
 埋戻し後の締固め状況が適切なのが写真で十分確認できる。
 盛土の敷均し締固めが適切に行われているのが写真で十分確認できる。
 掘削法面の施工状況および仕上げ面が写真等で十分確認できる。
 土羽等の丁張りを適正に設置しているのが写真で十分確認できる。
 段切りが必要な箇所については適切に実施しているのが写真で十分確認できる。
 必須の各種土質試験をもれなく行っている。
 仮置き・水切りが適切なのが、写真で十分確認できる。
 施工中や完了時に雨水等による崩壊防止のためにシートや仮排水等の対策を講じている。
 ※土羽・法面の仕上げが良いのが写真や現地で十分確認できる。
 残土処分先が写真や資料で十分確認できる。



【岩掘削】

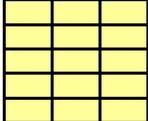
岩塊の掘削状況が写真で十分確認できる。
 火薬および破砕材の装薬状況が写真で十分確認できる。



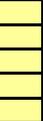
【軽量盛土】

基面が適正に施工されているのが写真で十分確認できる。
 各層のそれぞれの施工が適正で、その状況が写真で十分確認できる。
 各層の設置個数が写真で十分確認できる。

2 構造物取壊工（旧橋撤去含む）・廃棄物等処理工
良 可 不可



無



各種取り壊しの手順が適正であるのが、写真で十分確認できる。（舗装版破碎含む）
 施工機械が適正に使用されているのが、写真で十分確認できる。
 安全に施工されているのが、写真で十分確認できる。
 振動、騒音、粉塵、飛散、汚濁等への被害防止対策が、写真で十分確認できる。
 各種廃棄物および搬出物の搬出状況や処分先が写真や資料で十分確認できる。

1.1 地盤改良・安定処理工

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

無
■
■
■
■
■
■
■

- 改良材が良質であるのが品質資料や写真等で確認できる。
- 改良の深さや範囲が施工状況写真や施工記録等で確認できる。
- 改良材の使用量が番号付き袋の投入写真で全量確認できる。(空袋管理のみは不十分)
- 改良材の巻き出し厚の管理を適正に行っていることが写真で確認できる。
- 各種ドレーン等の施工が適正に実施されたことが写真や管理資料で確認できる。
- ※十分な改良効果があったことが試験結果や現地で確認できる。

1.2 地中連続壁工

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

無
■
■
■
■
■
■
■

- 改良柱の深さや位置が施工状況写真や施工記録等で十分確認できる。
- 固化材の注入量が管理データおよび管理写真で十分確認(証明)できる。
- 配合試験を実施し、強度確認資料がある。
- 設置前の壁体の芯出し状況が写真で十分確認できる。
- ※施工位置(座標等)が許容範囲内であることが十分確認できる。

1.3 補強土壁工・ジオテキスタイル工

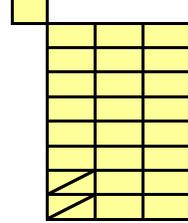
良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

無
■
■
■
■
■
■
■
■

- 施工基面の状況が良好なのが写真で十分確認できる。
- 基礎工設置が良好なのが写真で十分確認できる。
- 各段の補強材等の設置状況が適正で各段の長さや本数(枚数)等が写真等で十分確認できる。
- 各段の敷均し締固めの状況が適正で締固め厚や施工幅等が写真等で十分確認できる。
- 土留材(擁壁等)と補強材(アンカープレート等)の接合状況が適正なのが写真で十分確認できる。
- ※壁面材のかみ合わせ等が適切に施工されている。
- ※壁面の傾き(倒れ)が見受けられない。
- 吸出防止材の適正な施工が、写真で十分確認できる。

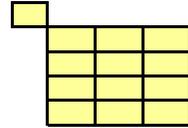
1.4 舗装工
良 可 不可

無



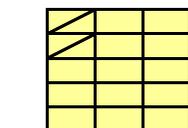
【路盤工】

路盤材が良質であるのが資料や写真等で十分確認できる。
 路盤厚の基準高による測点毎の管理を実施しているのが明確に確認できる。
 路盤厚が工事写真で明確に確認できる。
 路盤の施工幅が写真で明確に確認できる。
 路盤厚の掘り起こしによる管理で所定の個数を実施しているのが明確に確認できる。
 路床・路盤の転圧が十分であることが施工写真で十分確認できる。
 所定の現場密度の測定を実施し、その結果も適正である。
 下層路盤工（路床）のフルフローリングを実施しているのが写真および資料で確認できる。



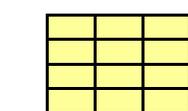
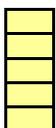
【アスファルト舗装工】

舗設状況が適正に行われているのが写真で十分確認できる。
 As混合物の出荷時、舗設時の温度、並びに交通開放時の表面温度が適正に管理されている。
 舗装厚の基準高による測点毎の管理を実施しているのが明確に確認できる。
 ※コア抜き状況写真が鮮明で、コア（現物）の目視により、厚さ、骨材、締固めが適正であるのが確認できる。
 現場密度試験により密度を確認できる。（その十分な資料がある。）
 アスファルト量及び粒度分布が適切である。
 乳剤散布量が適正であるのが、写真や資料で確認できる。
 ※隅々まで丁寧に転圧され、隣接構造物に損傷等を全く与えていない。
 ※排水性・透水性舗装の場合、排水ドレーン管等の適切な設置が写真で十分確認でき、透水性が良好であることが試験結果および現地試験で確認できる。
 ※平坦性が確保されているのが、平坦性試験および現地の状況で確認できる。
 表層と基層及び加熱アスファルト安定処理層の各層の打継目のずらし位置が適切である。
 舗装表面にあばたやローラマークなどがなく良好に仕上げられている。
 人孔蓋等がある場合、すり合わせが良くむらなく（凹凸なく）仕上げられている。



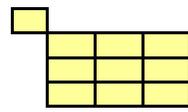
【ブロック舗装工（インターロッキング、平板、レンガ、自然石等）】

基礎面が適切に施工されているのが、写真で十分確認できる。
 ※ブロック舗装の据付は所定の表面勾配が得られている。
 ※施工目地が丁寧に仕上げられている。



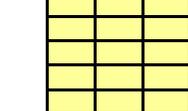
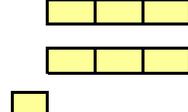
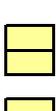
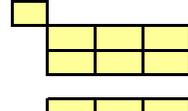
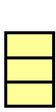
【薄層カラー舗装工（すべり止め舗装、樹脂系舗装含む）】

施工に先立ち基礎面の有害物を除去しているか乾燥状態で施工しているのが、写真で十分確認できる。
 使用材料が適切であることが、資料等で十分確認できる。
 （樹脂系バインダ、骨材、トップコート、）（コンクリート塗布はプライマあり）
 各施工状況が写真で十分確認できる。5度C以下、雨、雪のとき施工していないか。
 塗布量の空袋（缶）管理が、写真及び出荷伝票等で十分確認できる。
 （㎡当り、樹脂系バインダ1.9kg、骨材6.5kg、トップコート0.2kg、）（コンクリート塗布：プライマ0.2kg）
 舗装表面に、割れ、ひくれ、浮き、剥がれ等がなく、骨材の粗さもなく、良好に仕上げられている。



【区画線工】

塗料の空缶管理が写真および出荷伝票等で十分確認できる。
 塗料の施工前攪拌を実施し、よい状態で施工したことが写真で十分確認できる。
 施工状況が適切であるのが確認できる。
 ※塗膜厚の測定結果が記録されており、現地で十分確認できる。
 ※刻印を打設しているのが写真や現地で確認できる。



19 各種製品設置工

良	可	不可

無

- 基礎部（基礎コンクリート、削孔、取付具等を含む）の施工が適正なのが写真で十分確認できる。
- 施工状況が適正であることが写真等で十分確認できる。
- ※製品が製品仕様書等で定められたものと合致している。
- ※設置状況が適切であり、所定の機能が確認できる。

20 鋼構造物（鋼橋含む）

良	可	不可

無

- 鋼材の員数照合がミルシート等で確認されている。
- 有資格者による溶接の実施に関する書類と現地施工の関連性が十分確認できる。
- ボルトの締め付け確認が適正に実施され、その記録が管理されている。
- 支承据付が適切に実施されているのが確認できる。
- ※溶接に不十分な箇所がなく適正に行われているのが確認できる。
- ※ボルトの締め付けが適正に行われているのが資料や写真で確認できる。
- ※使用鋼材の品質が良質であることが写真または目視で確認できる。
- 各種部材の架設が適切に施工されたのが写真で確認できる。
- 各種試験が適切に実施され、その成果が適正であることが写真や資料で確認できる。

21 コンクリート橋

良	可	不可

無

- プレビュー桁のプレフレクション管理が適切に行われている。
- 緊張管理が適切に実施されていることが確認できる。
- グラウト注入管理が適切に実施されていることが確認できる。
- プレストレスング時のコンクリート強度を確認していることが確認できる。
- 支承の施工が適切に行われたことが写真で確認できる。
- 桁架設が適切に施工されたのが写真で確認できる。

（コンクリート施工関連は「現場打コンクリート構造物」等の該当項目に準ずる。）

22 橋梁付属工・補強工

良	可	不可

無

- クラック・剥離状況等の事前調査をしたことが資料で十分確認できる。
- 各工種の施工手順が写真で十分確認できる。
- 足場・支保工が適切に設置されているのが写真で十分確認できる。
- 全本数管理（削孔深さ）されていることが確認できる。
- ※伸縮装置が適切に施工されていることが十分確認できる。
- 橋面防水が適切に施工されていることが十分確認できる。
- ※落橋防止施設が適切に施工されていることが十分確認できる。
- 補強材が良質であることが資料や写真で確認できる。
- ※補強材の接着等適切に施工されていることが写真および現地で確認できる。

26 ブロックマット工・連節ブロック工

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

無

- 施工基面の施工が良好であることが写真等で十分確認できる。
- 施工状況が適切であることが写真で十分確認できる。
- 吸い出し防止シートの敷設が適正なことが写真で十分確認できる。
- ※固定方法が適切であることが写真や現場で十分確認できる。（固定ピン、連結具等）
- ※勾配がきちんと保たれている。

27 消波ブロック・根固めブロック製作工

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

無

- 作業工程が写真で十分確認できる。
- 型枠の組み立てが適切であるのが写真で十分確認できる。
- コンクリート打設が適切に実施されていることが写真で十分確認できる。
- ※製品に気泡跡等がない。
- ※製品にクラックがない。
- ※製品に傷や欠損がほとんどない。
- ※製作数量が確認できる番号等を表示している。

28 消波ブロック・根固めブロック設置工

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

無

- 設置状況が適正なことが写真で十分確認できる。
- 吸出防止材の施工が適正であることが写真で十分確認できる。
- 連結金具の設置が、写真により十分確認できる。
- ※指定されたブロックの積み方が適正に行われている。
- 水中施工の場合、水中の施工状況写真で十分確認できる。（常時濁り水の場合は無）

29 砂防・地すべり

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

無

- 地山との取り合わせが適切に行われていることが写真で十分確認できる。
- 各ブロックの施工基面（打ち継ぎ面）が適正に仕上げられていることが写真で十分確認できる。
- ライナープレートが適正に施工されていることが写真で十分確認できる。
- 集排水ポーリングの方向や角度を管理し、適正に施工を行っていることが十分確認できる。
- 集排水パイプの施工が適正で挿入長等が十分確認できる。

（砂防堰堤等は「現場打コンクリート構造物」等に準ずる。）

（鋼製のスリットダム等は「鋼構造物」等に準ずる。）

33 公園施設

良	可	不可

無

- ※材料が適正な製品であることが資料や現場で確認できる。
- 設置基面が適切であるのが写真や資料で十分確認できる。
- 施工状況が適切であるのが写真で十分確認できる。
- ※遊戯施設の安全性が十分確認できる。
- 保険・補償が付いている。

34 植栽工

良	可	不可

無

- 土壤試験（PH）を実施している。
- 植穴、埋戻しが適正であることが写真で十分確認できる。
- 肥料の分散、均一性を考慮し施肥されていることが写真で十分確認できる。
- 障害物や有害物等の除去を実施していることが写真で十分確認できる。
- ※樹木等に損傷や鉢くずれ等がなく、保護養生が適切に行われていることが写真や現地を確認できる。
- ※余刺枝の剪定、整形等必要な手入れが行われていることが写真で十分確認できる。
- ※高木植栽において支柱が堅固に取り付けられている。

35 除草工（伐木含む）

良	可	不可

無

- 作業員の配置等、安全な状態で施工していることが写真で十分確認できる。
- 巨木の場合、枝落とし・小切り・除根など各段階の施工が写真で十分確認できる。
- ※除根後の凹部を同等の材料で補修していることが、写真で十分確認できる。
- 集草を適切に実施していることが写真で十分確認できる。
- 搬出状況が適切なことが写真で十分確認できる。
- 場外への飛散流出の防止に対する配慮が確認できる。

36 機械・電気設備(水門、井堰、排水機場、照明等、下水道施設等)

良	可	不可

無

- 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が行われていることが資料で十分確認できる。
- 材料・部品・機器の品質や性能がミルシート、カタログおよび品質証明書等（現場照会を含む）で十分確認できる。
- 有資格者による溶接および溶接管理が適切に実施されていることが十分確認できる。
- 塗装および塗装管理が適切に実施されていることが十分確認できる。
- ※材料・部品・機器そのものが良質強固であることが写真や現地で十分確認できる。
- ※操作制御等の実動の機能が十分確認できる。
- ※製品の機能、性能に全く問題がないことが十分証明され確認できた。
- ※わかりやすい操作説明板等が準備されている。
- ※実動のための安全面での配慮がなされている。
- ※総合運転の結果により、所定の能力が十分確認できる。
- ※漏水等がなく、水密性が十分確認できる。

（その他「現場打コンクリート構造物」「鋼構造物」「塗装工」等の該当項目に準ずる。）

37 電気・電気通信

良	可	不可

無

- 仕様書等で定められた品質管理が行われていることが十分確認できる。（一般照明柱検査項目参照）
- 単体品の必要な証明書類が全品十分確認できる。
- ※単体品（材料・部品組立後）の設計図書等との整合が十分確認できる。
- ※設備が設計図書等と整合していることが十分確認できる。
- ※総合運転の結果により、所定の能力が十分確認できる。

39 下水道工事（推進工、人孔）

良 可 不可

無

- ※掘削時の土留め方法や推進時の掘進方法による、周辺地盤への影響が全くみられない。
- ※人孔において、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されていることが十分確認できる。
- ※インバートは形状、勾配、表面仕上げ等が適切で漏水がない。
- ※埋戻において、締固めが適切な方法で施工されており、沈下が見られない。
- 推進中の中心線測量、水準測量等の管理記録が十分確認できる。
- ※管渠（管布設・矩形渠布設、推進）工において、目立った屈曲や沈下が無い。
- ※管渠、人孔においてシール材・滑材・接着剤等のはみ出し等がない。
- ※管渠、人孔において漏水箇所が全くない。
- ※管渠継ぎ手部及び人孔連結部の目地仕上げが良好である。
- ※管渠に影響を与えるクラックや変形が全くない。（ある場合は、補修や手直しが必要）
- ※人孔の足掛金物の位置、方向が適切であり、鉄蓋設置においてガタツキがなく、仕上がり天端高も適切である。
- ※人孔蓋の天端は周辺地盤になじんでおり、周辺の復旧仕上がりがよい。
- 推進管の裏込め材料が十分充填されていることが写真や現地で十分確認できる。
- 取付管の施工が適正に行われていることが確認できる

40 下水道工事（シールド工のみ）

良 可 不可

無

- 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行なっている。
- 日々計測管理を行なっており、それに基づいた施工が行なわれていることが確認できる。
- ※2次覆工において漏水が全くない。
- ※裏込め注入を適切に行なっていることが、写真や資料で十分確認できる。
- ※セグメントの継手が適切に施工され漏水が全くない。
- その他（

（コンクリート施工関連は「共通」または「現場打コンクリート構造物」等の該当項目に準ずる。）

41 薬液注入工

良 可 不可

無

- 事前に薬液注入工事管理協議会等を設けて、管理が適正に行われていることが確認できる。
- 使用材料（硬化剤、助剤含む）の品質証明書の提出が十分確認できる。
- 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷写真及び空袋管理で使用量を十分確認できる。
- 削孔深さ、注入長が写真で十分確認出来る。
- 注入量、圧力等の施工管理が適正であることが十分確認できる。
- 注入効果が写真で十分確認できる。
- ※観測孔及び水質等の管理が適切に行なわれている。

46 機械・電気設備工事(下水道施設のみ)

良	可	不可

- 無
- 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。
 - 製造者による試験が適切に行なわれ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。
 - 施工完了時の試験及び記録が適切である。
 - 品質管理計画による品質管理記録が整備されている。
 - 不可視部分の写真記録が適切である。
 - 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。
 - 機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されている。

47 橋梁における耐震補強・補修工事（共通工）

良	可	不可

- 無
- 使用材料が設計図に示されている要求性能を満足することが確認できる。（炭素繊維シート、コンクリート、ひび割れ注入材、高欄、伸縮継手、塗装仕様等）
 - 使用材料（硬化剤、助剤含む）の品質証明書が提出されている。

48 橋梁耐震補強工事（炭素繊維シート工）

良	可	不可

- 無
- 下地処理が適切に行われている。
 - 飛散防止処置が適切に行われている。
 - 補強材（炭素繊維シート）は、施工中1回以上の付着強度試験を行い、その品質を確認している。
 - 補強材（炭素繊維シート）にふくれ、剥離、端部のめくれ等がない。
 - 継手部は所定の継手長が確保されている。
 - 継手位置が適切に配置されている。
 - 定着材（アンカー等）は引き抜き試験により、許容する引張強度が確保できていることを確認している。
 - 使用材料（硬化剤、助剤含む）は気象条件に適した使用量、使用時間等の管理が行われている。
 - 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷及び空袋で検査員の立会が行われている。
 - 積層部について、各層ごとに適切に写真管理が行われている。

49 橋梁耐震補強工事（RC巻立工）

良	可	不可

- 無
- アンカー工の削孔深さが全本数管理されており、十分確認できる。
 - 下地処理が適切に行われている。
 - アンカー工は引き抜き試験により、許容する引張強度が確保できていることを確認している。
 - 全体的に増厚幅を確認している。
 - 打設直後の初期ひび割れがない。

50 橋梁補修工事（コンクリート橋補修工）

良	可	不可

- 無
- 着工前に現場調査を十分に行い、実態にあった合った補修方法を監督員と協議した上で、施工が行われたことが確認できる。
 - ひび割れ注入材の注入量が確認できるような適切な管理が行われた。
 - 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷及び空袋で監督員の立会が行われた。
 - 断面修復の際、鉄筋の錆を確実に落とし、鉄筋の裏面まで防錆材による処置が施されていることが確認できる。

51 橋梁補修工事（鋼橋補修工）

良	可	不可

- 無
- 塗装に含まれる成分を把握するとともに、環境省令で定められる判定基準に対し、有害（PCB、鉛、六価クロム）と判断された場合、適切に剥ぎ取り方法が選定されている。
 - 塗装に含まれる成分に応じ、剥ぎ取った塗装は適切に廃棄手続きが行われている。
 - 飛散防止処置が適切に行われている。
 - 着工前に現場調査を十分に行い、実態にあった合った補修方法を監督員と協議した上で、施工が行われたことが確認できる。

52 ほ場整備
良 可 不可

無

整地工	基盤整地が適切に実施されている。
整地工	表土仕上げが適切に実施されている。
整地工	整地関係工種が適切に実施されている。
用水路工	用排水路は適切に実施されている。
排水路工	法面の勾配が適切である。
付帯工	付帯工の施工が適切に実施されている。
管水路工	管水路工事が適切に実施されている。
道路工	道路工が適切に実施されている。
道路工	砕石舗装の締め固めが良好である。

53 暗渠排水工・湧水処理
良 可 不可

無

	起点立ち上がり、水閘の設置位置が適切である。
	排水口の高さが適正である。
	管の設置位置（高、横位置）が適正である。
	復旧が適切に行われている。

54 クリーク防災

良 可 不可

無

	事前に工事測量が実施され、報告されている。
	運土が適切に施工されている。
	土工が適切に施工されている。
	二次製品が適切に布設されている。
	ブロックマットが適切に施工されている。
	かごマットが適切に施工されている。
	積ブロックが適切に施工されている。
	復旧が適切に施工されている。

55 ため池

良 可 不可

無

	盛土工	掘削が適切に実施されている。
	盛土工	盛土工事が適切に実施されている。
	盛土工	必要な試験が必要回数（事前協議）実施されており、試験値はすべて規格値内である。
	取水設備	掘削が適切に実施されている。
	取水設備	底樋管が適切に布設されている。
	取水設備	規定の高さに構造物が設置されている。
	洪水吐工	掘削が適切に実施されている。
	洪水吐工	収縮、伸縮、誘発目地が適切に施工されている。打継目処理が適切に施工されている。
	洪水吐工	鉄筋の規格・加工・組立・圧接が適切に行われているのが写真で十分確認できる。

	洪水吐工	コンクリートが適切に打設されている。（取水設備を含む。）
	洪水吐工	埋め戻しが適切に実施されている。（取水設備を含む。）
	法面保護	法面の整形が適切に施工されている。
	法面保護	基礎、笠、帯工コンクリートが適切に施工されている。
	法面保護	法面保護工が適切に施工されている。（張ブロック、芝、表面遮水）

56 その他の品質項目（追加項目や特筆項目など）

良	可	不可

無	記入→

(良×a+可×b-不可×c) / (対象項目最大合計点) = % 判定

(項目が少ない場合は特例を使用してください)

- 該当項目が80%以上・・・a
- 該当項目が60～80%未満・・・a'
- 該当項目が40～60%未満・・・b
- 該当項目が20～40%未満・・・b'
- 該当項目が0～20%未満・・・c
- 該当項目が-40～0%未満・・・d
- 該当項目が-40%未満・・・e
- 直接入力 重要部や主要部である不可視部分の出来形管理写真が不十分。・・・d
- 直接入力 *出来形管理数値と現地測定値に大きな差異があり、管理不十分なのが判明した。・・・d
- 直接入力 *手直しするほどではないが、設計図面等を軽視した施工が見受けられる。・・・d
- 直接入力 *実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により軽微な手直しを指示した。
・・・d (手直し指示書)
- 直接入力 *実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により重大な手直しを指示した。
・・・e (手直し指示書+再検査)

【出来形の少数項目の特例】 (施工状況評価項目数が50個以下では下記で評価を行う)

品質評価項目数=

特例適用判断→

- 該当項目が80%以上・・・a
- 該当項目が60～80%未満・・・b
- 該当項目が40～60%未満・・・b'
- 該当項目が20～40%未満・・・c
- 該当項目が0～20%未満・・・d
- 該当項目が0%未満・・・e

Ⅲ. 出来栄

[検査職員]

- YES 判定
- a 非常に優れている。
 - a' 優れている。
 - b やや優れている。
 - b' 概ね良好である。
 - c 普通である。
 - d やや劣っている。
 - e 劣っている。

(緊急工事等の迅速性を問うものについては通常工事の評価より1ランク上げる。(例. cならb' にする))